

# 現代の思春期・青年期を考える

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392>

期 日:2024年7月13日(土)・14日(日)

受講対象:小児科医師、精神科医師、臨床心理士、助産師、保健師、保育士、教師、社会福祉関係者など各機関・現場で子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員:80名(定員になり次第締切りますので、ホームページなどをご確認ください)

受講料:15,000円(税込み)

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

最近、ことに2020年代になって、20世紀後半の精神医学的病態の代表とも言える境界性パーソナリティ障害の診断基準を満たすケースを診ることがほとんどなくなった。代わって登場したのが社会的に不器用で、自己肯定感のない人格傾向のケースである。境界性パーソナリティ障害と言えば、背後にギャング(同性同年配)集団をめぐる思春期青年期の発達課題問題(エリクソンの自我同一性)があるとされたが、この病態の変化は再び思春期青年期の発達課題に変化が生じたことを考えておかねばならないだろう。

本講座では、臨床現場でご活躍の方々に登場を願って、それぞれの立場から、最近の思春期青年期の諸問題を語っていただきたいと考えている。

【企画講師:市ヶ谷ひもろぎクリニック名誉院長 牛島 定信】

## 【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
7月13日(土)	13:30~15:00	臨床現場から見えてくる 現代の思春期・青年期像	市ヶ谷ひもろぎクリニック 名誉院長 牛島 定信
	15:15~16:45	性被害をめぐる諸問題と治療 :児童期から思春期・青年期まで	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室 准教授 安藤 久美子
7月14日(日)	10:30~12:00	児童精神科で出会う子どもたち (発達障害、逆境体験)	うしじまこころの診療所 院長 牛島 洋景
	12:00~13:00	昼食(各自おとりください)	
	13:00~14:30	最近の青年たちにもみる 暴力をめぐる問題	東京医科大学 精神医学分野 准教授 柘屋 二郎
	14:45~16:15	最近の青年たちにもみる 自傷・依存行動をめぐる問題	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦

\*カリキュラム・休憩時間等が変更になる場合があります。